

THE RECORD

RYA 社団法人 日本レコード協会

平成6年10月1日発行

RECORDING INDUSTRY ASSOCIATION OF JAPAN

〒104 東京都中央区築地2-8-9 Tel (3541) 4411(代)

平成6年10月号 No. 419



分科会会場

「第一回FMフォーラム」開催

9月2、3日の両日にわたり、東京・江東区のホテル・イースト21において、当協会加盟レコード会社洋楽部門と全国FM局有志によって構成された「FMフォーラム実行委員会」主催、当協会後援による「第一回FMフォーラム」が開催されました。

この催しは、当協会洋楽部会における提案に端を発し、数多くのFM

局の方々の賛同を得て両者共同で

「FMフォーラム実行委員会」を発足、一年近くにもわたる準備期間を経て実施されたもので、「FMラジオとレコード会社は音楽を通じた運命共同体」という共通認識のもとに、

①新時代を迎え、相互理解の促進と親睦を図ることで、新たな信頼関係、より良いビジネス環境作りをする。

②両者の共通テーマを、セミナー、分科会を通じてプロフェッショナルに考える。また、それにより両者のリレーション関係を拡充する。

③レコード会社による最新音楽情報や94年度基本方針の説明、FM局による音楽番組におけるニーズの紹介等、両者の情報交換の場とする。

などを目的に開催されました。レコード業界とFM業界の共同開催という、過去に例を見ない試みということで、会場は、レコード会社、FM局、DJ、番組制作会社など関係者三百名が一堂に会し、熱気に溢れていました。

初日は、レコード会社サイドから



セミナー風景

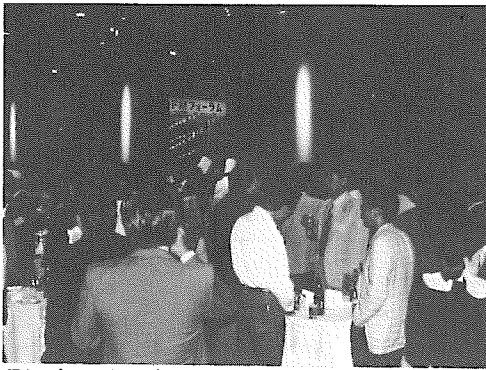
のプレゼンテーションと問題提議のセミナー「洋楽及び洋楽プロモーションの現状と分析」を皮切りに、FMサイドからのプレゼンテーションと問題提議のセミナー「FMラジオ及び番組制作の現状と分析」、更に海外よりの参加者によるセミナー「海外メディア・リレーション事情」と、それぞれの現場からのプレゼンテーションを中心に進行しました。

セミナーの合間に各社よりのアーティスト、新譜等の紹介を中心としたミュージックプレゼンテーションを交えながら進行し、それぞれにおける状況をお互いが再認識、把握す

るところで終了しました。また、初日終了後、懇親パーティーが催され、参加者同志、親睦を深めました。

二日目は、前日のFM、レコード会社それぞれのプレゼンテーション、問題提議を受ける形で、小人数の分科会ごとに検討、討論を実施し活発な意見が交わされました。最後に全体会議場で、各分科会による発表と質疑応答で終了しました。

レコード業界とFM業界が協力して一つのイベントを企画、実現し成功させたことは、今後より一層、相互理解を深め、パートナーシップを強固なものにするために、非常に意義深いものだったと思います。



懇親パーティー会場

IFPIアジア太平洋地域 評議員会、理事会開催

去る9月13日～15日、香港において、第16回IFPIアジア太平洋地域評議員会が、12か国、約百名の参加者を集めて開催されました。

これまででは地域評議員会のみが実施されていましたが、今年から新たに地域理事会が設けられ、その第一回会議が開催されました。当協会からは、理事に選任された、伊地知副会長と木村常務理事が出席しました。

〔評議員会〕
評議員会では、各国の最新マーケット事情が報告され、各国とも海賊版問題が最も大きな課題となっていることが報告されました。

香港では、最近、中国本土からの海賊版の流入が市場に大きな打撃を与えており、香港税関で94年1月～8月の間に、約15万の海賊版が回収され、五百九十五人が検挙されたことが報告され、タイ、インドネシア、フィリピン、オーストラリア、ニュージーランドでも海賊版やブートレックがかなり出回っている現状が報告されました。今後とも各国における積極的な海賊版対策を推進することが確認されました。続いて中国政

府の出版、著作権、放送関連担当者を招いての講演が行われ、中国では海賊版対策として全土のCD工場を登録制にし、その際にSIDコードを割り当てる体制を取ることになったことなどが報告されました。

また地域評議員会は地域理事会の新設に伴い基本的に二年に一度開催されることが確認されました。

〔理事会〕

理事会では、冒頭に議長と副議長の選出が行われ、議長にはBMGのピーター・ジェイミソン氏、副議長には、IFPI香港のノーマン・チャン氏が選出されました。

続いて、第一回目の会議ということで、基本的な事項の確認がなされ、今後、理事会は年一回、香港にて開催されることを決定しました。

また優先事項の見直しを行い、①アジア地域におけるカラオケビデオ演奏料徴収に関する検討を実施すること。②中国、香港を、活動の優先地域とすること。③諸問題を扱う上で必要な人員は予算内で確保すること。④ベトナムにIFPIの事務所を開設すること。⑤全てのCD工場にSIDコードを導入すること。が確認されました。

文化庁長官 歓送迎会行われる

去る9月2日、社団法人著作権情報センター主催により、霞が関東京会館において、新旧文化庁長官の歓送迎会が行われました。

当日は前長官の内田弘保氏、新長官の遠山敦子氏を主賓としてお招きし、文化庁から次長、文化部長、著作権課長ほかの方々にもご出席頂きました。

主催者側としては、JASRAC、芸団協、レコード協会ほか、著作権情報センターの正会員団体から100名を超える幹部が参会し、華やかな雰囲気の中で歓送迎会が行われました。

遠山長官は、初等教育局中学校課長、文化部長、文化庁次長、教育助成局庁、高等教育局長を歴任され、この度文化庁長官に就任されました。技術の進展に伴って著作権環境は激変していますが、かつて氏が文化庁で職務にあたられていた時代には著作権法の改正も担当され、著作権関係問題に関する造詣の深さに対し、関係団体の期待の大きさがひしひしと感じられる会でありました。

青山学院、 早稲田両大学への 寄附講座を継続

当協会創立50周年記念事業の一つとして、3年間の予定で開設されました青山学院、早稲田両大学への著作権講座の寄附を更に2年間延長することが決まりました。

これは両大学からの強い希望に応えたものです。

青山学院大学では、毎回の講義にテーマを定め、そのテーマに適した専門家または永年その仕事に携わっている方々の話を聞くというユニークな講座を開設し、学生間に好評を博しました。

同大学の神長勲法学部長は、講義継続の要望書の中で、受講希望者が教室の定員を遥かに超過したため抽選によって受講者を決めざるを得なかったこと、外部から講師を招いての講義が新風を吹き込み、学生間にも継続希望が多いことなどを挙げ、「とかく沈滞気味になりがちな大学内にインパクトを与え、産学共同の実をあげるとともに、学生に著作権思想の普及徹底を図る意味においても、この講座の継続は非常に意義あるもの」と、本講座を高く評価されております。

なお、青山学院大学の講義の内容

は、初年度「レコードと法」、2年度「音楽と法」という書籍としてまとめられています。

この寄附講座は、テレビや新聞でも報道され、特に前記「音楽と法」については、日経新聞にとりあげられるなど、当協会のイメージアップに繋がっています。

一方、早稲田大学の講座は、著作権問題に詳しい外国の大学教授、弁護士などを招いた特別講座も組まれ、本格的な著作権講座となっています。また、同大学の講座は当協会会員社の社員にも開放され、学生に混じって約30人ほどの会員社社員が受講いたしました。

早稲田大学からも「大きな成果をあげることができた」ことを感謝し、講座の継続を要望する旨の書簡が届いています。

当協会は、理事会に諮り、平成7年度および8年度の2年間について延長を決定致しました。

サンプル盤、 新回収システム始動

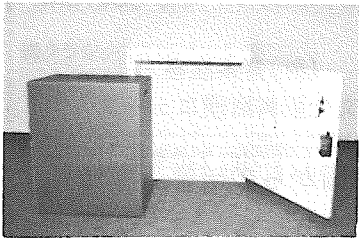
放送局等へレコードメーカーから配布されているサンプル盤については、十年程前から定期的な回収作業が続けられております。この開始当初と比較して、現在では、オーディ

オソフト全体の生産数量も約二倍になっており、当協会宣伝部会では、サンプル盤の後処理について見直しを行う必要があると考え、各放送局に対し、サンプル盤回収箱の設置と回収作業の協力依頼を行うことになりました。

回収箱の名称は「ブーメランボックス」(戻ってくるための箱の意)です。投入口のあるステイル製の箱で、その中にダンボール箱が入っています。一杯になった後は、このダンボール箱のみ新しく入れ替えるというシステムです。

新システムについては、十月の前半に宣伝部会各委員が手分けして、在京キー局及び首都圏近郊の地方局に対して協力依頼を行い、十月末から新システムをスタートさせる予定です。

また今後は、書籍出版社、新聞社評論家及び、全国の地方放送局へも同システムを導入を図るべく検討、並びに協力依頼を行っていただく予定です。



回収箱=ブーメランボックス

ホレたら買っちゃう、 音楽ビデオ〜ビデオ 共同キャンペーン実施

レコード協会加盟メーカー各社のビデオ部門担当者により構成されるビデオ部会では、この度レコード店におけるセルビデオ販売についてユーザーの認知度をより深め、加えて実売に結び付けていこうとする目的から、年末需要拡大期に向けて、参加メーカー作品の共同広告出稿を中心とする、キャンペーンを実施することになりました。

出稿予定は以下の通りです。

- *ザ・テレビジョン…11月22日
- *GB …11月22日
- *ビデオーた …11月24日
- *ザ・一番 …11月28日
- *CDでーた …10月2日

また出稿誌面上で、抽選にて音楽ギフトカードが当たるユーザーアンケートを実施します。これは、音楽ビデオを中心とした、ユーザーに関する分析を行い、今後、同部会メンバー及び各社の業務にも有効活用されるよう、データとしてまとめることを目的として行うものです。

また、同時期に販売店に対しても、店頭におけるキャンペーン告知用ポスターを用意し、対象商品の在庫整備を推進する予定です。

PL法研修会開催

当協会では、10月12日、東京八重洲の大東京火災海上保険(株)本社別館において「PL法と企業の対応」のテーマでPL法に関する研修会を開催することになりました。

本年7月「製造物責任(P.L.)法」が制定され、来年の7月1日以降に市場にでる製品から適用されることになり、業界団体及び各企業においては「PL問題」に取り組む体制づくりが必要となりました。

このため当協会では、技術委員会「消費者専門部会」(現在は、工場の品質管理部門の責任者で構成)を会員各社のPL責任者による全社組織に改組して対応することになり、まず、PL法に関する基礎的な研究から活動を開始することになったものです。

「日本プロ音楽

録音賞」制定

本年から、「音の日」(12月6日)の記念行事の一つとして、日本オーディオ協会、日本音楽スタジオ協会及び当協会共催で「日本プロ音楽録音賞」を制定し、「音の日」に授賞式を行うことになりました。

この賞は、音楽レコード及び音楽

放送番組を対象に、優れた録音を行った「録音エンジニア」を顕彰し、音楽制作における録音技術の向上を図ることを目的としたものです。

主な応募要領は、次の通りです。

一、申請対象作品
当協会会員会社が制作し、平成5年10月30日から平成6年9月30日までの間に初めて発売した「国内盤音楽レコード」。

二、受賞対象者
申請作品の制作に重要な役割を担った「録音エンジニア」で、当該申請会社の社員。

三、申請作品数
申請する作品数は、一社三作品。

■会員の移動について

当協会会員の(株)フォーライフレコードと(株)ポニーキャニオンが、それぞれ左記のように移転しましたのでお知らせします。

記

(株)フォーライフレコード

新住所…〒154世田谷区池尻

3-28-8

業務開始日…平成6年8月8日

(株)ポニーキャニオン

新住所…〒104中央区入船2-1-1

1-1住友入船ビル

業務開始日…平成6年9月26日

FOUNDATION FOR PROMOTION OF PROMIC MUSIC INDUSTRY AND CULTURE

(財)音楽産業・

文化振興財団ニュース

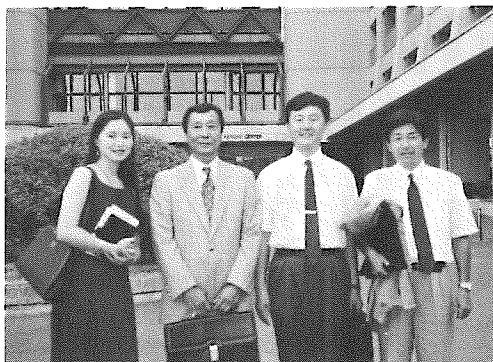
中国からの研修生招聘

(財)音楽産業・文化振興財団の平成六年度の事業の一環として当初より計画されていた、中国からの研修生二名が予定通り8月27日、来日し、現在研修中です。

これは、中国からレコード産業に係る研修生を受入れ、国際交流の一助として人材の養成に当たり、日中両国の音楽産業、音楽文化の懸け橋としての役割を担っていただくことを目的に、通産省、(財)海外技術者研修協会の援助の基に実現したものです。

今回、研修生として来日したのは趙文江さん(ラジオ・映画・TV省職員)、高紅さん(IFPI広洲支部職員)の二名で、10月7日まで海外技術者研修協会横浜研修センター

にて、日本語の学習、日本の文化・習慣等のガイダンスなど一般研修を実施し、その後東京研修センターにて11月20日まで、日本の音楽産業全般についての実地研修を予定しています。実地研修では、レコードメーカー、レコード協会、関連団体等のご協力をいただき、レコードの制作から販売に至までの過程、著作権、海賊版問題、レコードレンタルの実態等、幅広い角度から研修を実施することになっています。



中国からの研修生と音楽産業・文化振興財団、杉山専務理事(横浜研修センター前にて)

日本レコード協会ヒットチャートデータによるランキング

平成6年8月度(7月21日~8月20日)のヒットチャートデータがまとまりました。これによる各ランクの5位までは次のとおりです。

順位	タイトル	アーティスト	発売元
■邦楽・洋楽合同シングル 5位			
1.	Hello, my friend	松任谷由実	(TO)
2.	HEART/NATURAL/on Your Mark	CHAGE & ASKA	(PC)
3.	こんなそばに居るのに	ZARD	(BG)
4.	innocent world	MR. CHILDREN	(TF)
5.	人間	長渕 剛	(TO)
■洋楽シングル 5位			
1.	冬の散歩道	サイモン&ガーファンクル	(SME)
2.	愛を感じて	エルトン・ジョン	(PH)
3.	イマジジ	シセル・シルシェブー	(PI)
4.	LIFE ~ステイ・ゴールド~	スティヴィー・ワンダー	(PO)
5.	小さな願い (アイ・セイ・ア・リトル・プレイヤー)	ワークシャイ	(PC)
■邦楽・洋楽合同アルバム 5位			
1.	Impressions	竹内まりや	(EW)
2.	BILLIONAIRE	trf	(AV)
3.	STEP BY STEP	森高千里	(WJ)
4.	夏の終りにII	T-BOLAN	(ZA)
5.	with II~ Yumi Tanimura Best Selection	谷村有美	(SME)
■クラシックアルバム 5位			
1.	グレゴリアン・チャント Vol. 2	シロス修道院合唱団	(TO)
2.	メンデルスゾーン: 劇音楽(夏の夜の夢)全曲	吉永小百合(ナレーション)/ 小澤征爾指揮/ポストン・ヒル	(PO)
3.	ヴァイオリンの夜	古沢 巖(Vn)	(SME)
4.	「グレゴリアン・チャント」	シロス修道院合唱団	(TO)
5.	グレゴリアン・チャントとモテット集	カベラ・グレゴリアーナ	(C)
■洋楽アルバム 5位			
1.	ユニティ	ビッグ・マウンテン	(BV)
2.	HITS I	エリック・クラブトン 他	(WJ)
3.	トリーネ・レイン	トリーネ・レイン	(TO)
4.	Virgin 2I	UB 40 他	(TO)
5.	バラッズ	リチャード・マークス	(TO)

※日本コロムビア(C)/ビクターエンタテインメント(V)/キングレコード(K)/テイテク(TE)/ポリドール(PO)/東芝EMI(TO)/日本クラウン(CR)/徳間ジャパン(TJC)/ソニー・ミュージックエンタテインメント(SME)/日本フォノグラム(PH)/ボニーキャニオン(PC)/ワーナーミュージック・ジャパン(WJ)/アポロン(AP)/フォーライフレコード(FL)/バップ(VAP)/トールスレコード(TA)/ポリスター(PS)/アルファレコード(AL)/キティエンタープライズ(KIT)/ファンハウス(FUN)/イーストウエスト・ジャパン(EW)/BMGビクター(BV)/NECアベニュー(NA)/WEAミュージック(WEA)/メルダック(ME)/ハミングバード(HB)/TDKコア(TDK)/メティアルモラス(MR)/AXEC(AX)/トイズ・ファクトリー・レコード(TF)/バンダイ(BC)/パイオニアLDC(PI)/MCAビクター(MV)/ロッキットレコード(RO)/エイベックス・ディー・ディー(AV)/ピージ(BJ)/ヴァインレコード(ZA)/BMGルームス(BM)/ビエグラム(BG)/ワン・アップ・ミュージック(EP)

8月度「ゴールド・アルバム」他認定作品

8月度のゴールド・アルバム他が次のとおり認定されました。

■アルバム (22作品)

- クワドラプル・プラチナ
Impressions/竹内まりや (EW)
- トリプル・プラチナ
BILLIONAIRE/trf (AV)
- ミリオン
OFF THE ROCK/B'z (BM)
- ダブル・プラチナ
the NAME is.../矢沢永吉 (TO)
- プラチナ
STEP BY STEP/森高千里 (WJ)
16th Summer Breeze/杏里 (FL)
壊れた扉から/尾崎 豊 (SME)
HITS 1/エリック・クラブトン他 (WJ)
- ゴールド
with II~Yumi Tanimura Best Selection/谷村有美 (SME)
TMN final live LAST GROOVE 5.18/TMN (SME)
TMN final live LAST GROOVE 5.19/TMN (SME)
THE VERY BEST OF ICE BOX /ICE BOX (ME)
TMN BLUE~N.Kine Presents /TMN (SME)
Everything/MR.CHILDREN (TF)
m.c.A.T./m.c.A.T. (AV)
夏の終わりにII/T-BOLAN (ZA)
ユニティ/ビッグ・マウンテン (BV)
ライズ・アンド・シャイン /アスワド (SME)
イン・ユーテロ/ニルヴァーナ (MV)
トリーネ・レイン/トリーネ・レイン (TO)
ギヴィング・ユー・ザ・ベスト /ジュニア・ブラウン (BV)
リアル・シング/2 アンリミテッド (PH)

■シングル (18作品)

- クワドラプル・プラチナ
ロマンスの神様/広瀬香美 (V)
- トリプル・プラチナ
innocent world /MR.CHILDREN (TF)
- ミリオン
Hello, my friend/松任谷由実 (TO)
survival dAnce~no no cry more~ /trf (AV)
世界が終るまでは.../WANDS (BG)
- ダブルプラチナ
HEART/NATURAL/On Your Mark /CHAGE & ASKA (PC)
- プラチナ
Miss You/今井美樹 (FL)
こんなそばに居るのに/ZARD (BG)
冬の散歩道 /サイモン&ガーファンクル (SME)
- ゴールド
早くしてよ/久宝留理子 (SME)
人間/長渕 剛 (TO)
Jaguar Line/工藤静香 (PC)
berangkat - プランカー /THE BOOM (SME)
今夜はアギー・バック(nice vocal) /小沢健二 featuring スチャダラパー (TO)
恋しさと せつなさと 心強さと /篠原涼子 with t.komuro (SME)
逃げたりしない /To Be Continued (SME)
TRUTH/T-SQUARE (SME)
太陽がまた輝くとき/高橋ひろ (MR)

世界の話題

■人格権の調和

知的財産が、急速に注目を浴びるようになったことで、国内・外の圧力が、多くの国々に影響を与え、国内・外作品の保護基準を高めています。事実、知的財産権の調和は、ここ10年間の課題となっており、NAFTA やGATTといった通商合意に反映されています。

米国が1989年にベルヌ条約に加盟した時、同国では著作者の声望を保護する人格権について議論がありました。

仏著作権法的人格権には、著作物の改変からも保護を与えています。しかし、米国の人格権拡大を反対する者は、米国と仏国の娯楽産業は異なり、仏法律は米国に合わない、と主張しています。

カナダでは、人格権は1924年に法制化され、1988年には、著作物の改変防止だけでなく、政府援助の確立、著作者の合意表明があった場合のみ人格権を放棄する権利を認めています。

米国の人格権議論への参加者は、同国の法律に強力な人格権がないために、保護の不均衡が起きていることを知らなくてはなりません。著作権は、多くの国で内国民待遇が与えられており、これは、保護を主張する国の法律が適用されることを意味します。

カナダの著作者が米国で保護を主張したところ、彼女はカナダの法律で保護されました。従って、カナダが米国よりも強い保護の人格権を認めるならば、著作物がカ

ナダで使用された場合、同じ著作物が米国で使用された場合よりも、強い保護をカナダ国民とカナダ在住の米国人著作者に認めることになります。同様の状態が、米国と英国、米国と仏国等の間にも起こります。

技術の発達に伴い、人格権は更に重要性を増すと考えられます。著作物利用からの経済的利益を著作者に保証するためにも、人格権を無視した知的財産法の調和は考えられません。

(ビルボード '94/8/20)

■GATT 著作者保護を強化

米国は、外国で同国の知的財産を保護するためのGATT案を承認する予定です。

8月12日のヒアリングで上院、下院及びGATT知的財産小委員会のメンバーは、研究を開始しました。ただし、議会承認を得るまでは米国のGATTへの参加は公約できず、本協定の最終承認は来年早々になる見通しです。

GATTの著作権保護の条項は、TRIPSとして知られており、ブートレック製作者（無許諾でライブを録音し販売する者で、それによる業界の被害額は、年間10億米ドルと推測されている。最近、特にドイツやイタリアで精巧なブートレックCDが製作されている。）に対し、刑事罰則を付加する対策が盛り込まれています。

米国の主な関心事は、海賊版問題です。TRIPSでは、起源国で保護を受ける著作物にはGATT加

盟国内で国際的な保護が与えられ、遡及効により、いくつかの国々で映画やレコードがPDから救済されることになります。

RIAAのバーマン氏は、小委員会で遡及効の価値を以下のように言及しました。「米国のレコードは70か国で保護を受けておらず、それら多くは、経済的過渡期にある旧ソ連の国々である。遡及効が実現すれば、米国産業界（特にレコード産業）に劇的な経済的好転をもたらすだろう。起源国で保護されている著作物を保護する義務、例外を認めないこと、を明確にすべきであり、これを逃すと2,000年まで米国のレコードは、保護を受けられないだろう。」

TRIPSの義務は、先進国では1996年1月に発効予定であり、発展途上国や経済的過渡期の国々には、2,000年までの義務の遂行を要求しています。なお、100ヶ国以上がGATTへの参加に同意しています。今年始めのGATT/TRIPS合意では、米国と米国の著作権産業の2つの主目的が満たされていませんでした。それは、内国民待遇（国内の著作者に対するのと同じレベルの保護を国外の著作者者に補償する義務）と他の国との公正貿易のための機会の提供）です。

しかし、GATT/TRIPSは、『遡及効』と『ブートレック条項』について改善されない加盟国に対し、脅威と制裁をもたらす世界貿易団体を設立する予定です。

(ビルボード '94/8/27)

会議メモ (主なもの)

(9月1日～9月30日)

9・1 技術委員会

9・5 貸レ対策委員会

9・6 JASRAC委員会

9・7 調査統計部会

9・8 営業部会

9・12 レコード制作基準倫理委員会

9・13 法制委員会

9・14 著作権部会

9・16 経理部会

9・19 ビデオプロジェクト

9・20 Q盤プロジェクト

9・21 邦楽制作部会

9・22 洋楽部会

9・26 ビデオ部会

9・28 情報システム部会

9・28 洋楽宣伝専門部会

9・28 調査統計部会

9・30 理事会

1994年 8月レコード生産実績

数量：千枚・巻

単位

金額：百万円

表1. オーディオディスク

	8月 実績						1994年(1月~8月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
C	邦洋計	10,778	36	112	6,967	17	115	87,228	37	85	56,887	19	88
	邦洋	141	0	60	87	0	71	1,729	1	97	962	0	90
	計	10,919	36	111	7,054	18	114	88,956	38	85	57,850	19	88
D	邦洋計	13,516	45	110	24,226	61	110	91,539	39	103	159,570	54	103
	邦洋	5,712	19	105	8,607	22	109	51,948	22	112	79,117	27	114
	計	19,227	64	109	32,832	82	109	143,487	62	106	238,688	80	106
D	邦洋計	24,294	80	111	31,193	78	111	178,767	77	94	216,458	73	98
	邦洋	5,852	19	103	8,694	22	108	53,677	23	112	80,090	27	114
	計	30,146	100	110	39,886	100	110	232,444	100	97	296,537	100	102
P	邦洋計	37	0	245	78	0	578	130	0	125	192	0	237
	邦洋	20	0	45	34	0	39	182	0	38	329	0	35
	計	57	0	97	112	0	111	312	0	54	521	0	51
合計	邦洋計	24,331	81	111	31,271	78	111	178,897	77	94	216,649	73	98
	邦洋	5,872	19	103	8,728	22	107	53,858	23	111	80,409	27	113
	計	30,203	100	109	39,998	100	110	232,756	100	97	297,058	100	102

表2. オーディオテープ

	8月 実績						1994年(1月~8月)累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
カセット	邦洋計	2,259	99	97	1,709	98	81	18,547	99	85	15,474	98	82
	邦洋	26	1	75	28	2	60	242	1	61	284	2	56
	計	2,284	100	97	1,737	100	80	18,790	100	85	15,758	100	82
カートリッジ	邦洋計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	邦洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	邦洋計	2,259	99	97	1,709	98	81	18,547	99	85	15,474	98	82
	邦洋	26	1	75	28	2	60	242	1	61	284	2	56
	計	2,284	100	97	1,737	100	80	18,790	100	84	15,758	100	82

表3. 複合型CD (CDグラフィックス、CD-I、CD-ROMなど)

	8月 実績						1994年(1月~8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
邦洋計	2,133	99	399	2,440	99	331	13,596	100	351	13,041	99	317
邦洋	16	1	4,794	21	1	3,565	49	0	55	74	1	220
合計	2,149	100	402	2,462	100	334	13,645	100	344	13,115	100	317

表4. ビデオレコード

	8月 実績						1994年(1月~8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
ディスク	308	16	25	2,265	30	59	10,405	48	97	32,593	42	91
テープ	1,624	84	134	5,337	70	98	11,485	52	113	45,625	58	104
合計	1,932	100	79	7,602	100	82	21,890	100	105	78,218	100	98

表5. オーディオ/ビデオ/AV複合型レコード合計

	8月 実績						1994年(1月~8月)累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	32,487	89	108	41,735	81	109	251,545	88	96	312,816	77	101
複合型CD	2,149	6	402	2,462	5	334	13,645	5	344	13,115	3	317
ビデオ	1,932	5	79	7,602	15	82	21,890	8	105	78,218	19	98
合計	36,569	100	111	51,800	100	107	287,080	100	100	404,149	100	102

備考 1. 本年実績は、会員会社「27社」の集計である。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。

A.V. レコード及びblankテープ購入状況

本号は、本年5月に実施されたJNNデータバンク調査のデータを基に、オーディオ/ビデオレコードとblankテープの購入状況を図と表によって紹介します。

図 種類別購入者率

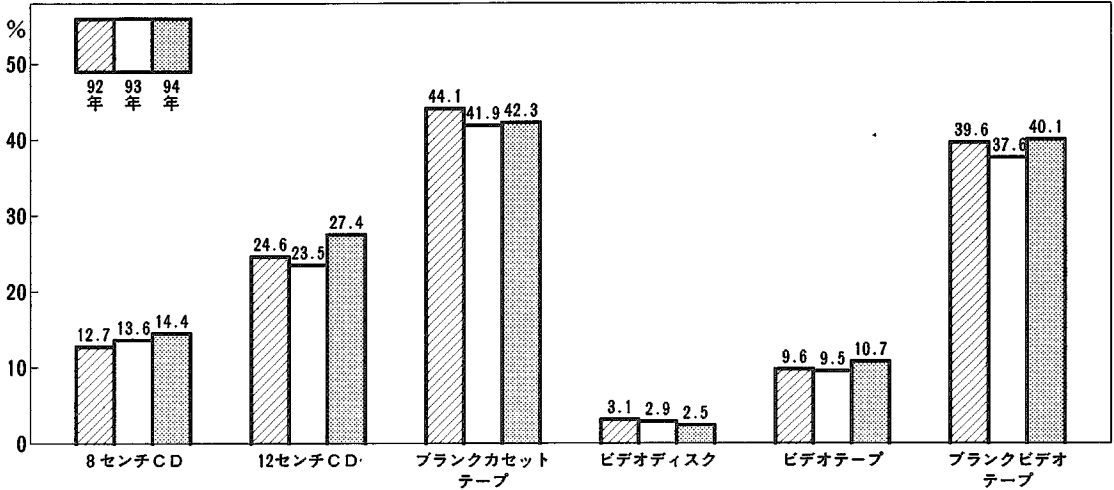


表 種類別・年代別購入者率 (1993年/1994年)

単位：%

		コンパクトディスク				blank		ビデオレコード				blank	
		8センチ		12センチ		カセットテープ		ディスク		テープ		ビデオテープ	
		1993年	1994年	1993年	1994年	1993年	1994年	1993年	1994年	1993年	1994年	1993年	1994年
男	10代	40.6	33.6	47.7	45.6	63.7	56.8	2.0	2.7	12.1	12.7	32.4	32.0
	20代	18.6	16.0	46.5	48.6	60.3	58.9	5.1	5.1	17.0	10.6	44.9	46.2
	30代	10.4	9.2	23.4	29.8	42.6	39.7	4.4	4.0	11.8	15.1	51.8	51.7
	40代	10.9	8.5	14.9	18.9	31.1	31.8	2.6	1.4	6.6	9.0	42.3	44.2
	50代	4.3	2.3	8.3	7.5	21.7	23.0	2.8	1.1	5.9	4.9	29.1	27.5
	男性全体	16.4	13.4	28.4	30.2	44.3	42.0	3.5	2.9	11.0	10.6	41.2	41.3
女	10代	34.5	37.1	41.6	46.6	71.8	66.1	2.1	1.2	6.7	15.5	35.3	33.1
	20代	14.2	16.4	36.7	39.4	61.8	56.9	1.4	3.1	11.0	15.6	37.6	44.7
	30代	10.9	14.5	20.1	17.7	40.2	36.8	3.4	2.0	15.5	12.8	48.6	47.6
	40代	10.5	9.9	15.2	15.9	32.5	33.5	2.6	2.2	6.5	5.8	38.0	43.4
	50代	2.5	3.7	6.5	8.1	23.7	23.0	1.4	2.0	4.7	5.4	24.7	21.3
	女性全体	13.6	15.4	23.4	24.8	44.9	42.5	2.3	2.2	9.2	10.9	37.5	39.0
全体	13.6	14.4	23.5	27.4	41.9	42.3	2.9	2.5	9.5	10.7	37.6	40.1	

(注) 購入者率は、各年とも5月の調査時点から遡った6ヶ月間にレコードを購入した人の割合。